

「引越業者とも宅配便とも違う」レントラ便[®]で躍進するハーツ 株式会社ハーツ 代表取締役 山口裕詮さん



山口裕詮氏

最近、「レントラ便[®]」という言葉を目にしたことはないだろうか。「レンタカー」と「トラック」を組み合わせた造語で、株式会社ハーツ（本社・東京都品川区、山口裕詮社長、<http://www.rentora.com>）が提供するサービスの名前だ。しかしこれ、単なるレンタルトラックではなく「運転手兼作業員」も付けてくれるという画期的サービス。今や前年比220%以上の伸びを見せるまでになった成長の秘密を、同社の山口裕詮（ひろあき）社長に聞いた。



きっかけは「鳥人間コンテスト」？

例えば形や重さの不ぞろいな荷物を20個ほど、比較的近距离に運ばなくてはならない時……。宅配便で送るには梱包しづらくて距離も短く、引越し業者を頼むほどの量でもなく、さりとてトラックを借りて自分で運ぼうにも慣れないトラックの運転は不安。ましてや運転免許を持っていないともなると——きっと、多くの人がこう思うだろう、「だれか、軽トラック持ってる友達いないかなあ〜」

3年ほど前、小さな引越し業者として営業していた山口さんのもとに、変わった依頼が舞い込んだ。「東京理科大学の“鳥人間サークル”からのものでした」。いわゆる“人力飛行機”の組み立て部品の数々を、大学のキャンパスから実験場所である河川敷まで運んでほしいという内容だったのだ。

「引越し業者の自分たちになぜ依頼してきたんだろう？と素朴な疑問が湧いてきて、とても気になり始めました。それで理由をいろいろと想像してみたんです」と山口さんは言う。その結果、思い当たったのが「一般の人が利用できる運送サービスは、宅配便が引越し便しかない。しかもレンタカーでトラックを借りても、運転ができないのだ」という二つのこと。「それで、こうした荷物を運ぶために特化した『運転手付き』サービスを思い付いたのです。」これが、市場のニーズを見事に掘り起こす結果となったのである。

「喜んでもらいたい」が一番

現在39歳。若くしての事業成功だが、これまでの人生、必ずしも順風満帆だったわけではない。

「高校時代はツッパっていて、落ちこぼれ。4年かけて卒業したんですよ」と山口さんは笑う。函館から上京して佐川急便に勤め始めたのが19歳。「敬語もまともに使えなかった私に、人生の基本を教えてくれた会社です」

その後同社を辞め、フリーター生活などを経て25歳の時に軽自動車1台で独立開業した。コツコツと仕事を続けて約8年。会社も順調に成長していた、そんな時……「会社経営について根本的に考え直す転機となった“事件”が起きたんです」

当時、山口さんの会社は大口の顧客1社に全体の8割の売り上げを依存する状態だった。「ところが、その会社との取引関係が突然切れてしまった。会社の危機どころか、自殺も考えるほどの切羽詰まった状態でした」。幸い、四方八方駆け回って何とか持ち直したものの、山口さんが強く認識したのは「1社依存の“下請け”状態になってはいけない」ということだった。

ちょうどそのころ、ある会社社長の講演会で語られた「自社ブランドの必要性」に感銘を受け、「自社サービス」が展開しやすい引越し業に参入した。それでも零細引越し業者が生き延びるには厳しい状況だった。

「そんな時に、“鳥人間サークル”の仕事を請けたのです。自社のサービスを特化させるなら、この『運転手付きトラックレンタル』のアイデアを形にするしかない、とハッキリ思いました。一筋の光が見えた瞬間でしたね」（次ページへ続く）

(前ページ続き)

こうして平成18年6月から「レントラ便」のサービスを開始。原油高や運送業界の過当競争、排ガス規制や駐停車取り締まりなどの困難な状況をものともせず、売り上げは順調に伸びていった。現在は関東地区や中部地区のみの限定営業だが、ゆくゆくは全国展開したいと山口さんは考えている。

「新しいサービスでお客様に喜んでもらえる、不思議なことに、次々とさらなるアイデアが湧いてくるものなんです。引越し資材の販売やエアコンクリーニング、ご不要品の廃棄などもオプションで喜ばれていますし、先日(2008/9/4)からはインターネットで24時間のお見積もりとご予約をしていただけるオンライン体制も整いました」と山口さんは顔をほころばせ、目を輝かせる。

環境にも配慮して、全車両にエコドライブ機器も搭載している。「やっぱりお客様に喜んでいただけることが、一番励みになります」という30代社長は、今でも週に一度は現場に出て、生の声を聞く。それがまた新たなサービスのきっかけになるのだ。

かつて「落ちこぼれ」だった少年は、今や業界に新風を吹き込む先駆者となった。「レントラ便」が「引越し」「宅配」に次ぐ第三のスタンダードとして、一般の人々に広く認知される日もそう遠くはない。

DATA

Profile

1. 生まれ 昭和44年、函館生まれの函館育ち
2. 性格 小心者だが大胆
3. 学生時代 落ちこぼれ。高校を4年かけて卒業
4. 学歴 北海道立函館工業高校を1年で中退。
5. フリーター その後、北海道函館西高校を卒業後、上京。
6. 職歴 ゴルフ場のカート道路にゴムチップを塗るアルバイト他1年間経験。佐川急便に勤務後、25歳で自動車1台で創業。運転手付きレンタカートラック「レントラ便」を着想・開発。
7. 趣味 船で深海魚釣り。ゴルフ(110前後)
8. 尊敬する人物 石井誠二氏(つば八創業者) 猿渡盛之氏(サヤカ社長) 坂本龍馬
9. 座右の銘 失敗しても反省あって後悔なし
10. 家族 妻と長男(7歳)

Company

- 代表者 山口 裕詮
- 設立 平成7年10月1日
- 資本金 1,300万円
- 業務内容
 - ・ 運転手付レンタルトラック「レントラ便」
 - ・ 廃棄物処分「エコ・ユウセン」
 - ・ 定期的運送「The 定期便」
 - ・ 中古品の売買(古物商)
 - ・ 発送代行業務
 - ・ それらに付帯する事業
- Web サイト
 - レントラ便 <http://www.rentora.com/>
 - エコ・ユウセン <http://www.ecoyusen.com/>
 - The 定期便 <http://www.hearts-exp.com/>

この記事に関するお問い合わせ先

株式会社ハーツ 山口 裕詮 (ヤマグチ ヒロアキ)
TEL: 03-5762-0072 FAX: 03-5762-0073 E-mail: h-yamaguchi@hearts-exp.com
ホームページ <http://www.rentora.com> ブログ <http://blog.goo.ne.jp/hearts-exp/>

- 上記写真 <http://www.tokyo-beauty.jp/contents/special/move/images/ceo.jpg> からダウンロードしていただけます。
- 株式会社ハーツでは、山口裕詮という人物にクローズアップした特集記事、番組等での取材して下さる記者様をお待ちしています。